

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

2018年度 総会
議案書

2018年5月27日（日）午後1時半～2時半
於：暮らしの保健室（ホームホスピス宮崎 事務局）

《目次》

第1号議案 2017年度活動報告・決算(案)

報告事項： 2018年度事業計画及び予算書



ゆるりサロン お花見へ

2017年度（平成29年度）活動報告(案)

1、活動のまとめ	… 1
2、2017年度事業活動実績	
1) 在宅ホスピス支援センター事業（ホスピスボランティア活動）	
①大切な人を亡くした方の集い	… 3
②患者らいぶらり	… 3
③宮崎聞き書き隊	… 4
④看取り寄り添いナース・ボランティア	… 5
⑤緩和ケア病棟園芸ボランティア	… 5
⑥ふらっとカフェ（がんサロン事業・宮崎県委託）	… 6
2) 人材養成のための教育プログラム	
①がんや認知症の在宅医療に関する講演会（ケアニン上映会&トークショー）	… 7
②介護職ができる「看取りケア」セミナー	… 8
③がん患者・家族のためのサポーター養成研修会（宮崎県委託事業）	…12
3) エンドオブライフケア支援事業	
①暮らしの保健室	…16
・ゆるりサロン、えがおキッチン、お灸教室、ゆるり短歌会	
②宮崎市在宅療養支援事業（よろず相談室）	…21
③かあさんの家事業	…22
4) 医療・介護保険規定による事業	
①訪問介護ステーションぱりおん	…25
②居宅支援療養事業所ぱりおん	…26
③訪問看護ステーションぱりおん	…26
5) ホームホスピス推進研修センター事業	
①日本財団在宅ホスピス実践リーダー養成プログラム	…28
②一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局の運営	…29
6) 黒岩ゆかり先生を偲ぶ会	…30
7) 街ン中ごちゃまぜプロジェクト	…31
8) 情報・広報	
①ニュースレター発行、ホームページ、マスコミなどの紹介、雑誌などへの掲載	…32
②講師派遣、見学者受け入れ	…33
9) 組織運営	
①理事会・総会	…37
②事務局	…37
◎ 2017年度決算(案)・財産目録・監査報告	…38

1. 活動のまとめ

認定NPO法人としての活動

ホームホスピス宮崎は、2015年3月1日付で宮崎県の認定特定非営利活動法人(認定NPO)になり3年が経過しました。認定NPOの活動に対して寄付をすると、申告によって税制上の優遇措置を受けることができますのですが、この制度を使って市民団体等の賛同する活動に寄付という形で貢献しようという機運はまだまだ広がっていません。イベントの時にチラシを配布し、呼びかけをしました。これからも地域にどのように貢献し、賛同する人を広げていくのが来期の課題です。

エクセレントNPO大賞受賞

1月18日、毎日新聞社・毎日ホールにおいて、「第5回エクセレントNPO大賞」の表彰式が行われました。全国のNPOは現在51,872団体ありますが、その中から156団体が応募し、エクセレントNPO大賞組織力賞を受賞しました。言論NPOが主催するこの賞は、世界に展開して活動をしている団体や、公的な支援が届かない分野で果敢に挑戦して活動している団体に贈られるものです。HHMが市民活動団体として地道に地域づくりをしてきたことと、また、そのプロセスの中で生まれた「ホームホスピス」が全国に広がっていることが評価され、また大きな期待になっていることを実感しました。

暮らしの保健室の役割

地域の中で様々なニーズに合わせて交流できる場「暮らしの保健室」の役割が広がっています。玄関に入ってキッチンがある居間のような空間は、訪れる人を和ませ、気軽に立ち寄れる雰囲気があります。“ゆるりサロン”は、一人暮らしだけれどここに来れば気兼ねなく時間を過ごすことができるという安心感があり、生活の一部になっている人もいます。そして、その場が独居の方の介護予防につながっています。

また、“ゆるり短歌会”や“えがおキッチン”、“セルフケアのためのお灸教室”も好評で、リピーターが増えています。その他、聞き書き教室やスキルアップ講座などの研修会や会議など、いろいろな方々の集いの場になり、地域を巻き込んだ丸ごとのケアの体制に欠かせない空間になっています。

宮崎市在宅療養相談事業

本年度6月から宮崎市の補助を受け相談機能を設けました。当会に寄せられる相談は、在宅療養する本人だけでなく、その家族も様々な不安や心配事を抱えています。がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で最期の時を過ごしたいと願って在宅療養を選択し、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き、語ることで自分自身の気持ちや症状を整理するための道標の場を設けました。訪問看護師を中心に、電話で、面接をして、訪問をしての相談を受けました。また、がんや認知症のための在宅療養に関する講演会を開催しました。

ホームホスピスカあさんの家の運営

今期は、かあさんの家の住人9名の方を看取りました。このところ、住人になられて慣れないうちに旅立たれる方が多くなりました。がん治療後の最後のステージにかあさんの家に来られた方や、病院入院後に身体的な機能の低下や医療的処置が必要になり、自宅でも施設でも受け入れができず、かあさんの家に退院となる方々です。受け入れから看取りまで残された時間が少ない状態ですから、スタッフにとっては、気の抜けないケアが続いた方々でもありました。医療的に本人に負担のかかる医療は避けながらの介護ですが、どの方もご家族が寄り添って悔いのないお看取りをなさり、忘れられない思い出をたくさんいただきました。

また、かあさんの家の利用料を10年ぶりに改訂しました。消費税の値上げに伴い、これまでいただいていた消費税を加え、医療依存度の高い方への処置が多くなっていることも踏まえ生活支援費をアップしました。スタッフの待遇改善のためにも値上げせざるを得ませんでした。

黒岩ゆかり先生を偲ぶ会

ホームホスピス宮崎の設立当初から、宮崎の在宅ホスピスケアの推進に共に歩んでくださった黒岩ゆかり先生が、2017年2月13日に逝去なさいました。宮崎市郡医師会病院緩和ケア病棟医長として15年率いてこられ、宮崎県内の緩和医療の普及に大きな功績を残されました。

黒岩ゆかり先生の遺徳をしのぶ会を開こうと、医師会やお世話になった方々に呼びかけて実行委員会をつくり、HHMが事務局を担いました。先生と一緒に仕事をされた医師会の先生方や緩和ケア病棟のナースチーム、緩和ケア病棟で看取られたご遺族の方々にお声を掛けました。そして、ゆかり先生のご遺族の方々に、生前どのようなお仕事をなさり、どのような方々に慕われていたのかを知っていただくことも大きな供養になると考えました。

参加してくださった方々全員の惜別の気持ちがあふれ、一人一人の思いを話しあって、厳粛だけど心癒される豊かな時間となりました。この様子はNHK「おはよう日本」で放映され大きな反響を呼びました。

（一社）全国ホームホスピス協会事務局の運営と「ホームホスピス実践者育成塾」の開催
2015年9月一般社団法人全国ホームホスピス協会が発足し、その事務局を担っています。協会の仕事は、ホームホスピスのケアの質を担保していくために、ケアの基準を定め、それに基づく評価の仕組みを持っています。それら事業が円滑にできるように連絡や文書の作成などの運営に直接かかわる業務と、全国のホームホスピスの様々な相談にのる等、多岐にわたっています。

今期は、第1回ホームホスピス実践者育成塾」がスタートし、各論の会場が宮崎シーガイアアーツ葉コテージで開催されました。運営をHHMが引き受け、全国各地から50名あまりの方々が集い、育成塾修了後も、かあさんの家での実習の希望者を引き受けました。

また、3月現在で、全国のホームホスピスは38事業所となり、また、福島県、大阪市、大分県、鹿児島県で開設準備中です。これらのケアのモデルが「かあさんの家」ですから、人生の最期まで生活をする、それを支えるホームホスピスの理念を心棒にして、HHMがけん引していく役割があると考えます。

2、2017年度(平成 29 年度)事業活動実績

1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

事業	事業概要	事業内容と実績
大切な人を亡くした方の集い	実施日時: 毎月第4月曜日 10:30～ 場所:日本キリスト 教団宮崎教会 担当:脇坂峰子	◆実施日:(参加人数) 2017年4/24(5), 5/22(6), 6/26(5), 7/24(4), 8月休会 9/25(4), 10/23(4), 11/27(5), 12/25(4) 2018年1/22(5), 2/26(5), 3/26(4) <u>合計 11回 延べ参加者数 51名</u> ◆内容:夏にお連れ合いを亡くされた男性が1月、2月に出席されました。自分が病気の時に奥様がして下さったような十分な看護が出来なかったと悔やまれていました。友人が自分達は医者では無いからとのサゼッションにそうかと思いつつながら悔やまれています。聞く方も疲れました。ずっと出席して居られる方が入院され半年ほど休まれましたがこの4月に無事に復帰されました。この会は心おきなく喋られるのが良いといわれました。(脇坂峰子記)
患者らいぶらり	実施日時: 第3木曜日 14:00～16:00 場所: 古賀総合HP 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科 担当:畠山桂子 ◆ボランティア:5名 畠山桂子 峰瑞枝 野平トヨ子 矢野小枝子 村中伸子	◆実施日: 2017年4/6、4/20、5/18、6/15、7/20、8/17、9/13、10/19、 11/16、12/1、12/21、2018年1/18、2/15、3/15 <u>合計 13日 活動延べ人数・・・27名</u> ◆貸し出し 中央4階内科病棟 利用した人数 325名 貸し出された冊数 490冊 産婦人科病棟 利用した人数 240名 貸し出された冊数 550冊 <u>総合計 利用者 565名 貸出冊数 1,040冊</u> ◆返却 中央4階内科病棟 利用した人数 341名 返却された冊数 477冊 産婦人科病棟 利用した人数 255名 返却された冊数 545冊 <u>総利用者 596名 返却された冊数 1,022冊</u>

事業	事業概要	事業内容と実績
患者のくらし		<p>◆5月から毎月第3木曜日に実施。 薬剤部澤田様より13冊単行本をいただきました。 6月に本館に数冊の寄贈と思われる本がありました。7月には産科の本棚に16冊、9月には本・マンガ本の寄贈がありました。</p>
宮崎聞き書き隊	<p>◎聞き書き定例勉強会 実施日時： 毎月第2日曜日 10:00～12:00 場所： 暮らしの保健室 市民活動センター 担当：井上直敬</p> <p>◎リレー聞き書き 期間：H29/4～H30/3 場所：デイケアかなりあ ハートピア細見クリニック 参加ボランティア：5名 高橋芳香 續田トミコ 西川良子 廣井寿美子 井上直敬</p> <p>◎個別の聞き書き 依頼を受けて聞き書き を実施</p>	<p>◇聞き書き勉強会 (参加者数) 2017年4/9(6)、5/14(4)、6/11(5)、7/1(2)、8/20(8)、9/(休会)、 10/8(2)、11/12(6)、※12/3(4)、12/10(3)、2018年1/14(7)、 2/11(5)、3/11(5) ※12/3 はえびの高原に於いて特別研修(相互講評会)実施 合計12回 延べ参加者数：57名</p> <p>講座を受けたあとを定着した活動に導くために、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能ももっている。</p> <p>◇リレー聞き書き 細見クリニックの‘デイケアかなりあ’で実施されている回想法によるケアに黒子として参加し発せられる言葉をリレー式に拾い集めて各利用者別に一冊の聞き書き本として差し上げている。 合計19回 延べ参加者数24人 利用者：16名(延べ85回) 冊子：5名(述べ47回分)に冊子を差し上げることが出来た。</p> <p>◇個別聞き書き 廣井寿美子・續田トミコ・・・90歳代・男性 『激動の昭和を生きる』 師範学校を出て大陸に渡り日本人学校で教壇に立った話</p> <p>山本・・・70歳代・男性 『ねんりん』初めての聞き書き 父に話を聞きました</p> <p>宮澤・・・90歳代・男性 『横須賀に来てよかった』初めての聞き書き 父は叔父さんで、叔父さんと呼んでいいのがお実父さん その父が語ってくれたこと</p> <p>井上直敬・・・70歳代・女性 『おじさん&おばさん AIホテルに泊まる』 初めて泊まったAI機能を駆使したホテルでの出来事…</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
書き隊 宮崎聞き	◎聞き書きの研修	◇聞き書き講座参加 本年度は実施無し
看取り寄り添いボランティア	看取り寄り添いナース ボランティア 久保野イツ子 本田澄子 入佐典子	○活動実績はなし ボランティアの事情により、実績を上げることはできなかった。この事業は、これからの高齢化社会において、看取りの重要性が課題となっている中であり、それをサポートする活動はますます必要となる。 今後とも行政や医療機関にこの活動呼び掛けていくことが必要である。 また、宮崎長寿社会懇話会（森憲正氏の呼びかけで設立された）など、有識者会議などを通じて、必要性を提案していきたい。

緩和ケア病棟園芸ボランティア	実施日時: 第1・第3水曜日 10:00～12:00 場所: 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭 ◆園芸ボランティア: 村中伸子、南涼子 高木典代、甲斐ケイ子、 脇坂峰子、原田ゆみ 子、岩本錦子、岩本玲 子、中村ヨシ子 計9名	◎緩和ケア病棟の庭園の花の管理等 ◆手順 1、緩和ケア病棟の受付に挨拶し、受付で鍵を借りる 2、庭で植物等の手入れをする 3、ボランティアルームで活動ノートを書き、受付で終了の旨伝え辞す ◆実施日(参加人数) 2017年 4/5(6)、5/24(3)、6/7(4)、6/21(3)、7/5(3)、7/19(2)、 8/2(3)、8/16(1)、9/6(4)、9/21(3)、10/4(2)、10/18(2)、 11/1(3)、11/29(2)、12/20(3)、2018年 1/17(5)、3/28(1) 合計 17日 延べ参加人数 50名 *作業が終わると、ボランティアルームに冷たいお茶が用意してありました。ありがとうございます。 *ボランティアのお休みがあったり、数が減っているの で新しい人の参加が増えることを願っています。 ◆活動内容 4/5・・・枯葉掃き、花柄摘み、草取り 5/24・・・花植付け、花柄・枯葉摘み、草取り 6/7・・・花柄摘み、枯葉掃除、草取り 6/21・・・枯葉掃除、草取り 7/5・・・枯葉摘み、アジサイの剪定・挿し木、草取り 7/19・・・ 枯葉掃除、雑草抜き 8/2・・・枯葉・枯花取り、花壇周りの雑草取り、鉢の雑草取り 8/16・・・枯葉・枯花取り、雑草取り、鉢の草取り 9/6・・・枯葉・枯花取り、花壇周りの雑草取り、鉢の雑草取り
----------------	---	---

	事業概要	事業内容と実績
ボランティア 緩和ケア病棟園芸		9/21・・・枯葉・枯花取り、鉢の雑草取り 10/4・・・枯葉・雑草取り、はまゆう・クリスマスローズ整理 10/18・・・枯葉・雑草取り 11/1・・・枯葉・雑草取り 11/29・・・枯葉掃除 12/20・・・花柄摘み、枝剪定、落葉掃除 1/17・・・花柄摘み、枝・草の剪定、落葉掃除 3/28・・・花柄摘み、水やり

がんサロン(ふらっとカフェ)事業・主催：宮崎県
運営企画：ホームホスピス宮崎



実施日時：
毎月第2水曜日
13:30～16:00
場所：県立宮崎病院
3階会議室

カフェスタッフ：
市原美穂、久保野イツ子、
太田幸子、村中伸子、
有村喜久代、緒方道子
(呈茶)、松枝文子
小倉優子、
日高里美、杉尾ひろみ、
児玉千穂、田端千春、
藤島美智子、川越紀子
(アロマセラピスト)

担当：太田幸子

◆実施日 (参加人数)

2017年4/12 (8)、5/10 (8)、6/14 (8)、7/12 (11)、
8/9 (7)、9/13 (11)、10/11 (8) 11/8 (10)、12/13 (10)、
2018年1/10 (11)、2/14 (13)、3/14 (10)

合計 12日 延べ参加人数 115名

◆ふらっとカフェ…だれでもふらっと気軽に立ち寄れる場所、
気兼ねなくフラットな関係で何でも話せる場所という意味を
込めて広報は、県病院内の全職員へチラシを配布、外来等に
掲示、ラックへ入れて頂き、患者さんへも配布。当日は、
がん相談室担当の方が、手作りで案内板を正面玄関の所に
立ててくださる。

◆カフェスタッフは、当日、会議机を動かし、テーブルクロス
をかけ、花を飾り、写真を壁に掛け、絵をイーゼルに
掛け、音楽を流し、入口にカフェ看板を立てる。
コーヒー、紅茶、抹茶、緑茶などの温かい飲み物と、
ちょっとしたお茶菓子をを用意する。県内のがんサロンの一
覧、医療用ウイッグを取り扱っている美容室などのご案内、
闘病記、食事療法、ガイド本、絵本なども用意する。

◆来場者をテーブルに招き、飲み物の注文を聞き、飲み物
とお茶を出し、お話を伺う。簡単なアンケートを記入し
てもらおう。できるだけ、カフェの終わりの時間でスタッ
フの話し合いの時間を作り、振り返りを共有した。



2) 人材養成のための教育プログラム

①がんや認知症の在宅療養に関する講演会 (宮崎市在宅療養相談支援事業)

ケアニン上映会&トークショー (ホスピスケア市民公開講演会)

【開催概要】

- ・期日：平成30年1月21日(日)14:00～17:30
- ・会場：宮崎市民プラザ・オルブライトホール



- ・内容：「ケアニン」上映会とトークショー
- ・講師：森田洋之氏（鹿児島市在）、加藤忠相氏（神奈川県藤沢市在）
- ・在宅療養相談の広報、宮崎市私の想いをつなぐノートコーナーを設置。

【実行委員会】

会の実施にあたって実行委員会を設置した。実行委員には、宮崎市の多職種に声をかけた。医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、ケアマネジャー、地域連携室のMSW等と、まちづくり協議会メンバーやボランティア、メディア関係者と幅広い方たちが集まった。

映画「ケアニン」は、平成29年6月より自主上映が始まり全国350か所で上映会が催されている。国内のみならず海外へも広がり、平成30年5月には「北京国際映画祭」で上映されるなど評判になっている映画である。宮崎県内では最初の上映会となったが、これから県内での取り組みもあると聞いている。

- 10/19 企画運営会議、広報用のチラシ作成
- 11/27 第1回実行委員会（12名）
- 12/26 第2回実行委員会（12名）
- 1/15 第3回実行委員会（19名）
- 1/21 当日運営（実行委員19名、事務局3名）



実行委員：黒木勝久、萩原尉子、吉村照代、久保野イツ子、高橋好香、日高里美、太田幸子
桐ヶ谷大淳、黒岩雄二、弓削正樹、立山裕也、古川拓矢、市原美穂、戸高洋子
HHM事務局

【当日参加者数】

- ・入場者数：274名
- ・実行委員・ボランティア数：22名、託児預かり：3名
- ・アンケート回収35%



アンケートの中に、「介護のイメージが180度変わった気がする、看取り、親子の愛、介護、すべて盛り込まれた素晴らしい映画でした」のコメントや、「認知症の母を介護しているが、自分の都合で介護しているなど反省。母に寄り添いデイの方と連携しながら楽しい日々を過ごしたい」と、在宅介護は大変だというマイナスのイメージが、少し良くなったのではないかと考える。

《まとめ》

高齢多死社会になり、自分の人生のしまい方を真剣に考える人が増えている。医療保険や介護保険の同時改正の年に、戸惑いや不安を抱える人も多い。国は人生における最終段階における意思決定支援のガイドラインを11年ぶりに見直し、この4月から本格的な運用が始まる。

お二人のトークの中心は、認知症でも、癌になっても、又障害をもってもそれが普通、老いていくのを嫌なこととして考えるのではなく、最期まで精いっぱい生活をしていけばよい、医療はむしろな控えめに・・・と言うことを事例から語られた。映像で伝える力とお二人の率

直なトークは、自分事のこれからに大きな感動と納得が得られたのではないだろうか。

人生の最終段階をどう迎えるのか、個人個人の病気や状況は違うので、こうでなければならぬという答えがあるわけではない。だが、だれにでも訪れる命の終わりに、目を背けずに考えたり、話を聞いたりすることは大切である。宮崎が“最期まで自分らしく”の思いをかなえる町になるためにも、最終段階の医療やケア、どこでどう生きていくのかの価値観も含めて、このような啓発事業を継続して実施していくことが重要であると考えている。

②介護職ができる「看取りケア」セミナー

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2017年度【指定公募・市民の集い】

【開催の背景】

「宮崎にホスピスを」から「宮崎のまち全体をホスピスに」と言う合言葉で、最期まで住み慣れた地域で暮し、安らかに逝けるまちづくりを目指して活動を創めて19年、そのプロセスの中で開設された「かあさんの家」が14年を迎える。宮崎市内に3軒の民家を借り、自宅ではないけれどもう一つの家として、5人の人が共に暮らす居場所となっている。

ここでは、最期まで人の気配を感じる空間でこれまでの暮らしを継続することを大切に、食事、排泄、睡眠、清潔、環境整備など、一人一人の生活のリズムを整える為に、介護職は他職種とのチームとかがわり支えている。この経験を通して、人生の幕を閉じるときは生活を支えるケアが中心で、医療はむしろバックに居て、過少でも過剰でもなく提供される医療が重要であると実感している。

そして、国は超高齢化社会における看取りの場所は、病院ではなく、生活の場である介護施設での看取りを推進する方針を打ち出し、介護報酬に看取り加算を設定した。

しかし、施設に勤務する介護職が看取りを経験したことが少なく、看護師がいない夜間などの不安や怖さがあり、なかなか進まないのが現状である。昨年より、県内の特別養護老人ホームなどの介護施設で、度々看取り研修の講師依頼を受けることが多くなった。

そこで、介護職ができる「看取り」セミナーを開催し、市民の方々と一緒に最終段階での過ごし方を学ぶ講座を企画した。講師には、看取りを介護職と一体的に行っているホームホスピスの実践者、介護職が中心になって看取っている施設管理者、認知症になってから20年にわたって、在宅から地域密着型の介護施設を経てかあさんの家で看取ったご遺族の話をお聞きし、フロア参加者を交えてフリートークできればと考えた。

【開催概要】

日時：2018年3月10日（土）14：00～16：30

会場：宮崎市民文化ホール イベントホール

参加費無料

講師：松本京子・・・(株)なごみ代表取締役、NPO法人神戸なごみの家理事長)

「介護と看護の一体的な支援体制について」

山城裕美・・・(株)ウエルフェアネット統括執行役員

「グループホームさわやかテラスにおける看取りについて」

長友敏・・・かあさんの家・霧島でお母さまを看取ったご遺族
 コーディネーター：市原美穂・・・認定NPO法人ホームホスピス宮崎理事長
 フロアの参加者との交流会のコーディネート

【開催までのスケジュール】

- 2017年5月24日 企画会議・・・会場予約、講師の選定
- 2017年7月19日 勇美の助成金決定
- 2017年12月18日 企画会議にて、広報用のチラシ作成を1月中旬にはできるように。
- 2018年1月～2月 会員やその他関係団体への送付
 ≪チラシを送付した施設の数≫
 会員・寄付者 101、宮崎県内の特別養護老人ホーム 45 か所、
 宮崎市内の居宅ケアプラン事業所 20 か所、訪問介護ステーション 171 か所
 宮崎市内の住宅型有料老人ホーム 160 か所
- 2018年1月21日 ケアニンの上映会とトークにて配布
- 2018年1月25日 報道機関に広報の依頼（朝日新聞、宮崎日日新聞、読売新聞、
 NHK宮崎放送局の今日の催し、MR T宮崎放送「介護の時間」
- 2018年2月20日 市民文化ホールにて会場打ち合わせ
- 2018年3月7日 企画会議にて、当日配布物の確認と当日ボランティアの手配確保
 お弁当、来賓接待などの手配。最終チケットの売り上げの数と入場者の把握、
 車椅子入場者の対応確認

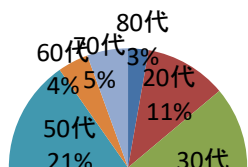
【当日のスケジュール】

- 13:00 集合、懸垂幕設置、予約席表示、
 楽屋準備、当日の役割分担と配置、
 ・暮らしの保健室コーナー
 ・チラシ・冊子無料配布コーナー
 ・書籍販売コーナー
- 13:45 開場
- 14:00 開演 司会進行：黒岩雄二
- 14:10 シンポジウム
 ・松本京子さん 発表 40分
 ・かあさんの家 ご遺族のお話 20分
- 15:20 ・山城裕美さん発表 40分
- 16:00 ・フロア参加者を交えてのフリートーク
- 16:40 閉会の辞 アンケート回収

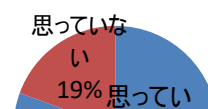


【当日参加者数】 103 名
アンケート回答者 72 名

②年齢

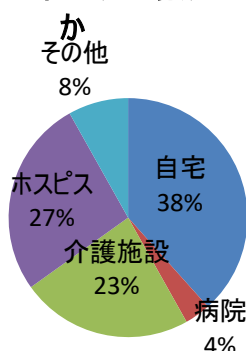


④自分が要介護になることを予測し不安に思っていますか



(アンケートより)

⑤ 自分が要介護の状態になった時、 最期を迎えるのに希望する場所はどこです



【まとめ】

介護職のための看取りをテーマに企画したが、介護職でなければ参加できませんかという問い合わせもあり、また、介護職は休みが不定期なために参加がなかなかできないとの声も聞かれ、参加者の把握がなかなかできなかった。予想よりも少ない参加者だったが、会場がまとまっていてフロアからの意見も活発に出た。

看取り期には、医療を尽くすよりも、介護の力で人生に寄り添うということが重要であるということ松本京子さんの講演からお聞きし、その後のご遺族の話がずっと入って感動が広がった。

ご遺族の方の体験は、やはり説得力があった。約 20 年ほど前から認知症の症状がみられるようになり、徘徊が始まり、何度も警察に保護されることもあった。それでも、家でみながら小規模多機能型施設を利用していたが、それも困難になってグループホームに入居、ターミナル期になってかあさんの家で丁寧な介護を受けた。最期は本当に自然で穏やかに看取ることができた。何度も今日か明日かという状態になったけれど、復活し、その時に訪問看護師さんが「徘徊をなさってたので、きっと身体も鍛えられたのかも」といわれ、そうだ、人生には何も無駄なことはないのだと納得させられたと語られた。

山城裕美さんのグループホームでの実践は、まさに介護職が看取ることで、介護の醍醐味があると事例を通して話された。認知症であろうとガンであろうと、最後の過ごし方はどなたも一緒に、安らかなことが一番ご家族の納得になるとの話だった。

フリートークでは、介護施設で働いている方の意見もあり、看取りを実際にしていないが、これから利用者で施設だと希望される方があった時には、頑張って看取りができるようにしたいと語られた。年配の方からは、もう当事者であるが、認知症になってもいいよ、癌になっても安心だよという宮崎になってほしいと願いを語られた。そのためには、やはり今のうちにどうしたい

のかの意思を周りに伝えることが重要だと思うとの意見もあった。

会の終了後に住宅型有料老人ホームの施設長をなさっている方が、数例の看取りをなさり、「ご家族もだけど、介護する私たちもたくさん学びがありました。今日のお話を聞いて、これから施設での看取りを積極的に進めていって良いのだとの確信が持てました。」と感想を伝えてくださった。

一般的には、最期の看取りの場は何処がいいのかという問いに、自宅での答えが7割を占めるのだが、アンケートによると、会場の意見は、自宅は38%にとどまり、介護施設、ホスピスを合わせると50%の半数である。誰に介護してもらいたいかとの問いも、家族ではなくて介護職が半数を占めている。やはり、高齢者世帯や独居世帯が増え、介護力の不足が顕著になり、自宅での看取りが困難だとの思いがあるのだろうと想像される。介護施設や療養型での介護職の看取りへのモチベーションを上げ、その人が望めば、望む場所で生を全うできるように、このようなセミナーを継続していくことが大切だと考える。

(公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成による)



③がんカウンセラー養成講座（患者・家族のためのサポーター養成研修会）

宮崎県がんサロン等運営支援事業委託業務事業委託
担当と報告 太田幸子

期日：平成30年2月12日(日)10時～16時
会場：JAアズム別館2階研修室
講師：板井孝彦郎

内容：人生の＜不条理＞を生き抜く力はどこに？

- 1) 講義と、ワークショップ(話し合い)を実施した。
- 2) 対象者は、平成 22～28 年度宮崎県「がんカウンセラー養成研修会」修了者、がん診療連携拠点病院などの相談支援センターの相談員、訪問看護ステーションの訪問看護師、ケアマネジャー、がん患者会・がん患者サロンなどの運営関係者、がんサロン等に関心のある医療関係者、がん患者・がん経験者やその家族とした。
- 3) 講師について、昨年度までは、市郡医師会病院 緩和ケア病棟 黒岩ゆかり先生にコーディネートをお願いしていた。今年度は、宮崎大学医学部で臨床倫理を教えておられる板井孝壱郎先生をお願いした。板井先生は、附属病院医療現場において、病院職員(医師、看護師、薬剤師等のメディカル・スタッフや、事務職員など)が、終末期医療における延命治療の差し控え・中止などの問題や、出生前診断、遺伝子診断等をめぐる問題など倫理的なジレンマに遭遇した際、患者さんに提供する診療内容が、真に倫理的なものとなるためにコンサルテーションをされている。
- 4) 研修会に向けてのチラシを作成し、県内の保健所(9)、がん診療連携拠点病院等の緩和ケア科・相談支援センター・病院の地域医療連携室(45)、訪問看護 S T (112)、地域包括支援センター(71)、平成 28 年度の受講者、相談室・がんサロン・がん患者団体(20)、健康づくり協会、宮崎県医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、宮崎市郡医師会、薬剤師会、宮崎市社会福祉協議会、昨年までの参加者などに送付した。また、宮崎キョアケアネットワークを通じて広報を行った。
- 5) 研修会参加者には、県内の患者サロンの情報と「ふらっとカフェ」のチラシ、宮崎県「がん相談支援センターのご案内」、「がん・糖尿病等で【長期療養】しながら働きたい方へ～ハローワーク宮崎による就労支援のご案内～」のチラシ、「事業場における治療と就業生活の両立支店のためのガイドライン(厚生労働省)」「病気でも働き続けたい。始まっています。「治療と職業生活の両立支援」のチラシを配布した。
- 6) 研修会の全部のプログラムを修了した者には、修了証をお渡しした。

●ワールドカフェとは

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法

- ・本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行う(話は短く、簡潔に)
- ・自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながり意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえる
- ・メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる

- ・参加者数は12人から、1,000人以上でも実施可能です。

●板井先生の講演内容

「なんで私がこんな目に・・・」納得のいかないことに直面した時、「スピリチュアルペイン」を抱える患者さんへどのようにサポートしていけばよいのかを一緒に学んでいく

・生命・医療倫理 抗がん剤は副作用と効果がセット 根拠がないとダメ 低侵襲でQOLが保たれないとダメ

・人間は自由の刑に処せられている：自分で決めることは責任が伴う 決定(選択)した結果起こったことに対する責任「結果責任」が重くのしかかる どんな自分にでもなれる どうなりたいかは意思決定

・人間は死を避けることができない存在 事実を伝えると希望を奪うは別 価値観に合理性はない 合理的認識 迎えに来てくれるといいですねと願うことは希望を奪わない

・冷静と冷淡 知りたいと知らない権利

・目に見えないもの 大いなるものに対する畏敬の念 恐れ→科学の進歩で信じられなくなった 世間様に顔向けできない 心の声など

・延命と救命の違い

・スピリチュアルは、翻訳できない

・黒岩先生に患者さんが「三途の川を一緒に渡ってくれないか」孤独な作業をするのは怖い→嘘はつかない 手を握って「一緒に渡ることはできません。でもあなたが渡りきるまで、しっかりここで見守っていますからね」

・生きてきたようにしか亡くなることできない 医療者としての壁乗り越えられない 必然の流れ 家族仲良くできなくても仕方がないこと

・自分が何なのか、神が意味を与えてくれた 人間が何者であるかは人間自身が決めること

・事実は変えられない 意味は自分の中でできる

●昼食をとりながら自己紹介 昼食時間に、自己紹介をし、お互いを知る時間とした 午後の講義

・だれかのせいにしてしまうなど、CSIテストは、思考のくせの手がかりとなる。
場面や周りの人により、見せる表情が違うことがわかる。顔がない、アイデンティティがない 自分がない この人といると心地よいといった、役割になれるような顔になる
真っ白な実存を彫刻していき、自分らしく倫理実存になる

Communication Style Inventory 簡易版を使用して、工作中、オフの時(どういう場面にいる自分かを一貫して)それぞれあてはまる項をチェックする →結果を集計し「4つのタイプ分け」コントローラー・プロモーター・サポーター・アナライザーより自分の傾向の強いタイプを診断する。ぶれるのが当たり前、ずっと一緒ではない、変化する。

・なぜなのですか・・・説明するとなぜではなくなる 原因：気づかないのが悪い
娘さんの本当の願いは何か→思いやり？ 思い込み？

事実をどう解釈するのか 無理もないこと なぜWhyに答えない

子宮がん 40代 子供残して→メカニズムを聞いているのではない

「よろしかったら話を聞かせてもらえませんか」胸の内に思うこと
「実は私・・・以前産めなかった、命を奪った罰と思っているのです」
「そんなことで」→話さなければよかった
「そうでしたか、ずっと胸の内に抱えていらしてお辛かったですよ」
「そうですね ～と思われてしまうのですね 無慈悲な仏様ばかりいるのかなと私は
思いますけど・・・」 視野を広げる

What How は説明

Why なぜ私が←科学、医学が説明できない 共感 思いやり 思い込み

自分自身はどうだろうか

- ・妊婦の脳死症例：不条理は様々な場面で起こる 妊婦・赤ちゃんどちらを助ける
呼吸器外す がん治療と妊娠継続
- ・「コウノドリ」事故にあった妊娠中の妻 消え去っていく不安を乗り越え 本来の自分
って何だろう 活動 エネルギーの流れ “人間らしい” って何だろう
- ・おやつタイム(お菓子と飲み物で休憩)
- ・患者サロンの紹介：サロンに関わっていらっしゃる方に活動内容を紹介してもらおう
- ・「人形劇ギルド」の映像と歌を鑑賞し、の「マンナズとベルガナの親子」についての
問いにどう思うか考え、テーブルでお互いの考えを共有する

「スピリチュアル」という概念をとらえる

理不尽：変えられるかも

不条理：何らかのわからない力が働いている

奇跡：理にかなってない 起こりえなかったことが起こる→奇跡

起こった出来事を、どんな未来が待っているか、生きるエネルギーに変えられるか

この子の命になる奇跡の物語の序章 自分で考えていく 湧いてくる

死生観、人生観、ゆらぎ、戸惑いながら

《アンケートより》

- ・哲学、生命・医療倫理の歴史的背景から、どのように人間が考え、スピリチュアルな苦悩
に向き合ってきたのかが分かった。
- ・Communication Style Inventory 簡易版より、工作中、オフの時に分け項目をチェックし
た結果、それぞれの場面において、同じ自分でも、違うタイプでいることがわかった。
- ・起きてしまった現実を変えることはできないが、人間は、そこに意味づけすることで想定
外の現実を受け入れ、これから自分は何をすべきかを見出すことができることがわかった。
- ・昨年まで、黒岩ゆかり先生のコーディネートで、患者さんやご家族の心の内を知り、サポ
ートするには、どのように寄り添ったらよいかを学んできた。実際に、難しい状態の患者
さんに寄り添って来られた経験を学ぶことができた。今年は、黒岩先生が最期まで、勉強に
通われた板井先生の講義を受けることができ、おおもとなる理論を学べた。



3) エンドオブライフケア支援事業

【暮らしの保健室】

地域に開放した暮らしの保健室を目指して、
暮らしの保健室で催される内容を、毎月「暮らしの保健室だより」として発行した。

計12回発行

通年として、「ゆるりサロン」月・水 10:00~15:00 が開かれている。要支援までの認

定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であっても、デイサービスのない日など、気軽に出かけられ、そして、そこに行くとなじみの顔があり、楽しみができる。そうすることで、健康を取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

月に1回、「ゆるり短歌会」では、読まれる1編1篇が、生活の中から感じられることや、季節の気配に感じられる感情などが織り込まれている。



そのほかの行事や会合など、52回、400名を超える方々の利用があった。

《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水 10:00～15:00

4月	7	金	19:00～21:00	第1回 偲ぶ会実行委員会	10名
	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	8名
	14	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	7名
	21	金	19:00～21:00	第2回 偲ぶ会実行委員会	11名
5月	12	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	5名
	14	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4名
	18	木	19:00～21:00	第3回 偲ぶ会実行委員会	12名
	28	日	13:30～15:00	定期総会	18名
	28	日	15:00～15:20	理事会	5名
6月	5	月	10:00～15:00	ホームホスピス実践者育成塾	52名
	7	水	19:00～21:00	第4回 偲ぶ会実行委員会	11名
	11	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5名
	16	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	6名
	21	水	15:30～17:00	赤江まちづくり会議	12名
	30	金	10:00～12:00	リンパマッサージ(セルフケア) 主催：赤江まちづくり推進委員会つなごう部会	25名
7月	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5名
	14	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	5名
	19	水	15:30～17:00	赤江まちづくり会議	10名
8月	29	土	10:00～12:00	お灸教室	6名
	19	土	10:00～14:00	えがおキッチン	13名
9月	20	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7名
	8	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	6名
	9	土	13:30～15:00	お灸教室	4名
	11	月	10:30～12:00	リンパマッサージ(『夢創り人』市民出前講座)	16名

10月	2	月	17:00～19:00	街ン中ごちゃまぜプロジェクト	13名
	8	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3名
	28	土	10:00～14:00	えがおキッチン	11名
11月	2	水	15:00～17:00	赤江まちづくり会議	8名
	10	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	4名
	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7名
	24	金	18:00～20:00	街ン中ごちゃまぜプロジェクト	7名
	26	月	19:00～20:00	第1回 『ケアニン』 実行委員会	11名
12月	8	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	5名
	10	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3名
	22	金	18:00～20:00	街ン中ごちゃまぜプロジェクト	5名
	26	火	19:00～20:00	第2回 『ケアニン』 実行委員会	11名
1月	13	土	13:30～15:00	お灸教室	4名
	14	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7名
	15	月	19:00～20:00	第3回 『ケアニン』 実行委員会	12名
2月	3	土	13:30～15:00	お灸教室	6名
	9	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	6名
	11	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5名
	24	土	10:00～14:00	えがおキッチン	15名
3月	7	水	15:10～17:00	赤江まちづくり会議	8名
	11	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5名
	22	木	17:30～18:30	修士論文発表(訪問看護ステーションぱりおん 松枝文子氏)	15名
	24	土	17:00～19:00	街ン中ごちゃまぜプロジェクト	15名
	30	金	15:00～17:00	常任理事会	5名

事業	事業概要	事業内容と実績
----	------	---------

暮らしの保健室	<p>◎ゆるりサロン 実施日時： 毎週月・水曜日（週2） 10:30～15:00</p> <p>担当理事： 立川志乃 ボランティア： 矢野小枝子、 吉岡順子、南谷佳子 小倉優子、藤本美穂</p> <p>体操指導：三堂悦子</p> <p>手芸教室指導： 三堂悦子（機織り指導） 大山さよ子 （パッチワーク指導）</p> <p>タクティールケア 佐伯衣江・吉岡順子</p> <p>音楽療法 毎月第1水曜日 指導：南正覚文子</p>	<p>◆実施日（回数） 2017年4月(8)、5月(9)、6月(7)、7月(8)、8月(6)、9月(7)、 10月(8)、11月(9)、12月(8)、2018年1月(7)、2月(7) 3月(7) <u>合計 91回</u></p> <p>◆延べ利用者（人数） 2017年4月(45)、5月(50)、6月(34)、7月(36)、8月(26)、 9月(43)、10月(48)、11月(52)、12月(53)、2018年1月(28)、 2月(27)、3月(41) <u>合計 483名</u></p> <p>◆延べボランティア数(人数) 2017年4月(40)、5月(47)、6月(32)、7月(39)、8月(30)、 9月(34)、10月(38)、11月(38)、12月(39)、2018年1月(33)、 2月(30)、3月(29) <u>合計 429名</u></p> <p>年間行事： 9/11 リンパマッサージ 10/14 小戸の橋ストリートフェスティバル参加 10～1月 宮崎市民活動センタードネーション活動参加 12/9 赤江まちづくり「つなごうサロン」 12/25 クリスマス会 1/24 尺八篠笛演奏会 4～2月 イオン幸せのイエローレシートキャンペーン参加 3/28 花見(その後ランチ会)</p> <p>日常の健康管理を行い、楽しいおしゃべり場を作っている。昼食をみんなで一緒に頂き、パッチワークや編み物、機織りなど手仕事を楽しんでいる。音楽療法では、大きな声を出して歌い、楽器を奏でて楽しんでいる。タクティールケアでは、心も体も癒され、利用者から大好評である。また、健康体操も大変好評である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
	事業	事業概要

◎えがおキッチン

講師：松井康代
(助産師・調理師)



◎セルフケアのための
お灸教室

講師：園田清美
(看護師・鍼灸師)



スローフードで、無農薬野菜や無添加乗用調味料を使つての体に優しい料理を学びます。

8/19(土) 「夏野菜を使った時短料理」

参加者 13名 講師：松井康代

10/28(土) 「ハロウィン料理を楽しもう」

参加者 11名 講師：松井康代

2/24(土) 「プロに学ぶ家庭で楽しむ中国料理」

参加者 17名 講師：親衛 広行

(エアラインホテル SHISEN 副調理長)

合計 3回 延べ参加人数 41名

今年度も宮崎の食材にこだわりメニューを考えた。毎回共通するのは簡単・時短で家でも作れるメニュー、そして何よりも楽しい時間が過ごせるようにという思い企画している。中国料理はプロの技だけではなく、野菜の選び方から切り方のコツなど楽しいトークとともに楽しむことができた。毎回メニューが多過ぎて食事時間が遅くなるので、今後検討していく。昨年度から実施している外部講師は好評なので継続していく。広報に関してはまだ十分ではないので、検討していく必要がある。

実施日と参加人数 (新規)

①6/19 (土) 10:00~15:00 BBQ&お灸教室「入門編」8(4)

②7/29 (土) 13:30~15:00 「入門編」6(5)

③9/9 (土) 10:00~11:30 「シニアのお灸」4(2)

④12/9 (土) 10:00~11:30 赤江つなごうサロンお灸教室
「入門編」22

⑤1/13 (土) 10:30~12:00 「入門編」4(3)

参加人数 44 (14) 名




事業

事業概要

事業内容と実績

暮らしの保健室	<p>◎ゆるり短歌会</p> <p>実施日時： 毎月第2金曜日 10:30～12:00</p> <p>指導：堀越照代</p> <p>担当：立川志乃</p> <p>会友： 高山美智子・戸部恵美子 興梶恵子・稲葉厚子 坂口まゆみ・堀越照代 立川志乃</p>	<p>無事、3年目を迎えることができました。 毎回、リピーターの方にご参加いただき、和やかにおしゃべりも楽しみながら実施させていただいています。 今年は新たな試みでBBQと野外お灸のコラボで開放的なお灸教室を体験しました。また、以前ホームホスピスでお灸体験された方のお声かけで地域の催し物(赤江つなごうサロン)でお灸コーナーを担当させていただきました。殆どが高齢者の方でしたが、ホームホスピスでのお灸教室の経験から高齢者の方の施術時の安全にも配慮することができ、事故なく楽しんでいただけたと思います。 今年は開催回数が少なく、ご迷惑をおかけしました。定期的に参加することで皆さんのセルフケアへの意識も高まり健康維持に繋がると思うので6回/年以上は実施できるように実施できるよう努力したいと思います。 今年度も「棒灸」の購入要望が多かったです。経済的でもあり愛用していただいているようです。</p> <p>◆実施日(参加人数)</p> <p>2017年4/11(6)、5/12(5)、6/16(6)、7/14(5)、9/8(6) 11/10(4)、12/8(5)、2018年2/9(6)</p> <p style="text-align: right;"><u>合計8回</u> のべ参加人数43名</p> <p>参加者は、7人くらいで、2首ずつ持ち寄り、皆で鑑賞します。先生に添削していただくことも楽しみです。私たちが詠んだ短歌よりずっとすてきに変身します。「老いて歌おう」や「宮日歌壇」に応募するなど意欲的になっています。</p> <p>◎いきたいをいきたいと書く「違うよ逝きたいのよ」と弱音はく君 ◎ホスピスは建物ではなくころだと末期患者に寄り添ひし医師 ◎カーテンを開いて見ればわが庭の中程ほんのり白くなりいつ ◎雪空に煙となりし人からのいつも通りのお歳暮届く ◎本年は如何なる様に過ぎ行くや気力と感謝に時を任せむ ◎軒先で飼いたる金魚いつのまに五尾が三尾に三尾が一尾に ◎寒空に風邪ひかぬかと気遣いて友のくれたる柚子の香広がる</p> <p>*ホームホスピス宮崎のホームページに作品を開催しています。</p>
	事業	事業概要

宮崎市在宅療養支援事業（よろず相談室）	<p>◎在宅療養 でんわ相談室 (宮崎市補助事業)</p> <p>相談担当： 松枝文子 市原美穂 吉村照代</p> <p>平成 29 年 6 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日</p> <p>相談件数…41 件</p> <p>相談内容内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所 22 件 ・その他在宅医療、 看取りなど <p>41 件のうち かあさんの家入居 4 名</p>	<p>① 相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたしらしく生きる」道標の場を設置する。 ・相談窓口設置の周知のためにチラシ作成。 <p>②相談に応じる為に、メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く。相談員として、松枝文子（看護師・宮崎大学医学部社会医学講座 生命・医療倫理学分野修士課程在学中）、吉村照代氏に依頼。また当初より堤育子氏（訪問看護ステーションぱりおん管理者）にサポート依頼。松枝氏は修士課程在学中であり、研究のまとめの時期になり 11 月中旬より休職の希望。その為当会の市原及び堤が相談を受けた。吉村照代氏には認知症の方の相談のアドバイスを受けた。不定期の対応のため、賃金は発生していない。</p> <p>③相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。</p> <p>相談日：週 5 日午前 10 時から午後 5 時まで開設。相談は、電話、また面接してお話を聞く。相談料無料。相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。</p> <p>④ 7 月 3 日に専用電話機を訪問看護ステーション内に設置。周知のためのチラシを作成し、講演会や保健所などの窓口に配布。専用相談電話 0985-67-5003</p> <p>⑤相談内容は、癌の治療に関して抗がん剤のやめ時についてや痛みの治療についてなどの専門的な医療の問題から、介護保険のことについてケアマネジャーの依頼方法、申請などの相談もある。また、老老介護のためや、胃瘻や経管栄養のために家で介護は無理だ、どのように施設を選べばいいのかなど、医療や介護に関しての専門的な相談が多い。関係機関につなぎ必要な情報を提供した。</p> <p>介護者が急病で緊急入院したために、当日夜からの短期入所を探すケアマネからの相談には、かあさんの家で一時利用された事例もある。当会には居宅療養支援事業所と訪問看護ステーションがあり、即対応できるメリットがあった。</p>
	事業	事業概要

ホームホスピスカあさんの家	<p>◎かあさんの家の運営 (平成30年3月31日現在)</p> <p>統括マネージャー 久保野 イツ子 曾師主任・薬師寺恵 霧島主任・荒川久美子 月見ヶ丘・甲斐昌江(兼任)</p> <p>平均介護度：5 入居者延べ人数 1647名 入居延べ日数 1648日 クリスマス会や誕生会など 5回開催・延べ37名参加</p> 	<p>◆かあさんの家の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した運営を目指す ・研修生の受け入れ ・家族会の開催 <p>《事業内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のデイサービスなど利用する。 ② 24時間365日対応で、夜間1名、昼間2名のスタッフ配置。 ③ 家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護ステーションと連携して保管する。看取りの時は、家族の食事や寝具などを提供し、安心して寄り添えるように配慮する。 ④ 高齢者の摂食嚥下に配慮して嚥下訓練やソフト食の提供。 ⑤ 本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など) ⑥ 防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。 ⑦ 空いている民家を利用することで、地域の共有財産として限りなく自宅に近い空間を提供し、それが安心に繋がっている。 ⑧ 研修医、医学生、看護学生、自治学院、在宅ホスピスリーダー養成の研修の受け入れの研修の場として提供している。 <p>・かあさんの家 お花見 期日：5月20日(土)10:30~14:20 会場：フローランテ宮崎 参加者：59名 曾師 5名、霧島 5名、月見ヶ丘 6名 スタッフ25名・家族18名</p> <p>・かあさんの家 家族会 期日：7月16日(日)10:30~ 会場：暮らしの保健室 参加者：12名</p>
	事業	事業概要

ホームホスピスカあさんの家	<p>かあさんの家・曾師</p> <p>住人の数：4名</p> <p>平均介護度：5</p> <p>(平成30年3月31日現在)</p> <p>入居者延べ人数 1825名</p> <p>クリスマス会や誕生会など5回開催・延べ38名参加</p>	<p>☆かあさんの家・曾師</p> <p>看取り数：5名 新たな入居者：4名、</p> <p>現在入居者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養1名、認知症3名、 ・がんで一人暮らしだった方の不安感に寄り添い、喫煙のことや親子の長い間のわだかまりなど、3カ月の間に和解。 ・がんと認知症で、家族の介護が困難だった方2名、急性心不全で突然逝ってしまわれた方など、ご家族へのケアが必要だった。
	<p>かあさんの家・霧島</p> <p>住人の数：6名</p> <p>平均介護度：4,7</p> <p>(平成30年3月31日現在)</p>	<p>☆かあさんの家・霧島</p> <p>看取り数：3名 新たな入居者：2名</p> <p>現在入居者：6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経難病2名、胃瘻2名、気管カニューレ1名 肝臓がん1名 ・介護度5の方ばかりで、医療的な処置もあり、スタッフは一時も気が抜けないケアの体制が続いた。 ・看取りに至るまでは、ある程度時間があり、ご家族の覚悟ができており、「何もしない、自然な形で・・・」と見守って納得の看取りとなった。
	<p>かあさんの家・櫛</p>	<p>☆かあさんの家・櫛</p> <p>平成29年3月末で休止の状態となり、スタッフの増員をもつての再開のめどが立たず、11月末をもって家主の長岡氏へ貸借契約を解除した。</p>
	<p>かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>住人の数：4名</p> <p>平均介護度：5</p> <p>(平成30年3月31日現在)</p> <p>入居者延べ人数 1642名</p> <p>クリスマス会や誕生会など7回開催・延べ52名参加</p>	<p>☆かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>看取り数：0名 新たな入居者：1名</p> <p>他施設へ転居3名（うち1名は霧島へ移動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害、認知症などで、医療的にも気管カニューレ、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が求められ、重度介護が必要な方々である。経管栄養を外して口から食べることを大切にしながら、全面的な食事介助の方が多いので、パートのスタッフをお願いした。
事業	事業概要	事業内容と実績

ホームホスピスカあさんの家	<p>研修生の受け入れ</p> <p>団体数 11 団体 研修生 合計 85 名 受け入れ延べ日数 178 日</p>	<p>◆お誕生会</p> <p>それぞれのお誕生会をご家族に積極的にかかわっていただくようにした。それぞれに工夫されて、ホームパーティになっている。</p> <p>◆かあさんの家除草（庭掃除）ボランティア</p> <p>檜の庭の手入れをご家族の方が剪定も含めてやってくださって、季節の花々も楽しめるようにと心を配ってくださっている。</p> <p>◆研修生の受け入れ</p> <p>研修医や看護学生の研修や実習などを受け入れた。本年度も引き続き神奈川県平塚共済病院からの研修医 2 年目のドクターを毎月 1 名、城山病院の地域医療研修の一環として受け入れた。また、宮崎大学医学部医学科 2 年生の研修が始まり、医学教育推進の一助を担うことができた。県庁職員の介護体験の受け入れの継続、さらには新しく九州保健福祉大学総合医療専門学校の看護学生 3 年 60 名が在宅医療の現場かあさんの家での生活援助体験をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平塚共済病院医師臨床研修医（城山病院より依頼） 5 月～2 月 【10 名の医師】 ・日本赤十字九州国際看護大学 5 月 22 日～6 月 2 日 【1 名】 ・宮崎大学医学部医学科 2 年学外早期体験実習 8 月 14 日～8 月 17 日 【3 名】 8 月 21 日～8 月 24 日 【3 名】 ・宮崎大学医学部看護学科 4 年総合実習 7 月 11 日～7 月 28 日 【3 名】 ・宮崎県職員研修（自治学院） 10 月 16 日～10 月 19 日 【6 名】 ・九州保健福祉大学総合医療専門学校看護学生【60 名】 1 日 2 時間 <p>ホームホスピスからの実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6 月 2 日 ホームホスピスは一との家(東京都) 2 名 フローラファミリー（千葉県） 2 名 ・6 月 6 日 ひなたの家(兵庫県) 1 名 仁泉会(福島県) 1 名 ・6 月 12～16 日、7 月 10 日 ホームホスピス日南子(日南市) 3 名
---------------	---	--

4) 医療・介護保険事業

事業	事業概要	事業内容と実績
訪問介護ステーションぱりおん	<p>★管理者：甲斐昌江</p> <p>★サービス提供責任者： 薬師寺恵 甲斐昌江 荒川久美子</p> <p>★スタッフ：22名 (2018年3月31日現在)</p> <p><u>介護福祉士12名</u> 甲斐昌江、荒川久美子、 薬師寺恵、堀美和子、 川越和子(准看)、日高静佳 (准看)、金子晃子、里脇希 実子、黒原愛子、二宮淳、 日高和美</p> <p><u>介護職員基礎研修受講：1名</u> 松山純子</p> <p><u>ヘルパー1級：2名</u> 松山和世、久保野イツ子 (看護師)</p> <p><u>ヘルパー2級：7名</u> 太田幸、清水妙子、 前田なつ、深井まゆみ、 松本まゆみ、丸山美樹、 濱田美香(准看)</p> <p>8月10日(土) 指導監査</p>	<p>月1回定例でスタッフ研修を行っている。また、住人の受け入れや症状の変化に応じて、スタッフ会議を臨機応変に行っている。医療との連携では、主任が中心になって報告連絡を欠かさないようにしている。</p> <p>人員確保が困難なこともあり、そのために、シフト調整を工夫しながらの日々であった。</p> <p>【内部研修】</p> <p>① 各「かあさんの家」スタッフ会議(毎月1回) 状況の変化に応じ速やかに事例検討会を行っている。</p> <p>②定例スタッフ研修</p> <p>4/27 老いと衰えの経過と生活を支える 介護職の役割「起動」「くぼみ」「傾き」</p> <p>6/29 認知症のステージ</p> <p>7/18 夏季反省会</p> <p>11/13、14 介護スタッフ労働時間説明会</p> <p>1/24 冬季反省会</p> <p>【外部研修】 (参加人数)</p> <p>5月7、8日 ホームホスピス実践者育成塾総論 (兵庫県神戸市) (3)</p> <p>6月3日～5日 ホームホスピス実践者育成塾各論 (宮崎市) (18)</p> <p>10月12日 認知症臨床研究会(細見クリニック) (1)</p> <p>10月16日 第1回宮崎市集団指導 (1)</p> <p>10月16日 介護職処遇改善加算説明会 (1)</p> <p>11月20日 在宅緩和ケア研修会 (2)</p> <p>12月2・3日 「第6回ホームホスピス全国合同研修会・in 東京」 (全国ホームホスピス協会) (1)</p> <p>12月19日 高齢者虐待防止研修会 (2)</p> <p>2018年3月23日 第2回宮崎市集団指導 (1)</p> <p>講座数：9回 延べ参加人数：30名</p> <p>・宮崎市より指導監査を受けた</p>
事業	事業概要	事業内容と実績

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">居宅介護支援事業所 ぱりおん</p>	<p>管理者：祐末めぐみ 担当数：19 件 年間実績延べ件数： 230 件 看取り人数：7 名</p>	<p>介護度 1・・・3 名 2・・・0 名 3・・・1 名 4・・・3 名 5・・・9 名</p> <p>要支援 1・・・0 名 要支援 2・・・1 名</p> <p>(平成 30 年 3 月 31 日現在)</p> <p>・特定疾患の難病が 2 名、経管栄養や医療依存度の高い方が 12 名、約 80%が介護度の重度な方である。</p>																						
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">訪問看護ステーション ぱりおん</p>	<p>管理者： 所長：堤育子 副所長：白波さおり (10 月-11 月以後休職 3 月より非常勤復職) 常勤：広瀬知佳 (11 月～) 非常勤： 川島小代子(理学療法士) 古土井万寿美(看護師) 武藤麻衣子(看護師) 松枝文子(看護師) 松浦和美(准看護師 3 月～)</p> <p>非常勤事務員： 奈須京子 立川美穂(10 月～)</p>	<p>◆利用者(人数) 2017 年 4 月 (33)、5 月 (35)、6 月 (36)、7 月 (32)、8 月 (35) 9 月 (30)、10 月 (30)、11 月 (33)、12 月 (31) 2018 年 1 月 (27)、2 月 (27)、3 月 (28) <u>延べ利用者数 377 名</u></p> <p>◆訪問件数 2017 年 4 月 (295)、5 月 (300)、6 月 (333)、7 月 (292) 8 月 (337)、9 月 (293)、10 月 (295)、11 月 (274) 12 月 (238) 2018 年 1 月 (227)、2 月 (230)、3 月 (306) <u>延べ訪問回数 3420 件</u></p> <p>◆利用者病名</p> <div data-bbox="651 1346 1337 1809"> <table border="1"> <caption>疾患分類 (Disease Classification)</caption> <thead> <tr> <th>疾患名</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>癌</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>老年</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>神経</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>内分泌</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>循環器</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>呼吸器</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>消化器</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>消化器</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>◆看取り 在宅:8 名、かあさんの家:5 名、病院:5 名 <u>計 18 名</u></p>	疾患名	割合	癌	34%	老年	24%	小児	17%	神経	12%	内分泌	7%	循環器	2%	精神	2%	呼吸器	1%	消化器	1%	消化器	1%
疾患名	割合																							
癌	34%																							
老年	24%																							
小児	17%																							
神経	12%																							
内分泌	7%																							
循環器	2%																							
精神	2%																							
呼吸器	1%																							
消化器	1%																							
消化器	1%																							

事業	事業概要	事業内容と実績
----	------	---------

訪問看護ステーションぱりおん	<p>外部講師派遣: 11 団体 (別表参照)</p> <p>外部研修参加 延べ人数 18 名</p>	<p><u>研修参加</u></p> <p>4 月 南部病院研修 (堤)</p> <p>7 月 人工呼吸管理 (堤) 人体シュミレータ (武藤 広瀬)</p> <p>10 月 がん患者意思決定支援 (堤) 集団指導 (堤)</p> <p>11 月 集中治療 (堤)</p> <p>12 月 せん妄研修 (堤)</p> <p>1 月 労務管理 (堤)</p> <p>2 月 自殺予防 (古土井) がん患者と家族のサポーター講座(堤) 精神科看護 (広瀬)</p> <p>3 月 連携研修 (武藤) 意思決定支援 (堤 広瀬 古土井 松浦) 集団指導 (白波)</p> <p><u>研修生受入れ</u></p> <p>9 月 熊本大学専門看護師研修 2 名 (2 週間)</p> <p>9 月 宮崎県看護協会ステップ 1 研修 2 名 (1 週間)</p>
----------------	---	--

5) ホームホスピス推進研修センター事業

事業	事業概要	事業内容と実績
日本財団・在宅ホスピス実践リーダー養成研修	<p>日本財団 在宅ホスピスケア実践 リーダー養成 研修担当： 久保野イツ子</p> <p>研修生： 2地域から2名 他のホームホスピスの 研修生の短期受け入れ 2名</p>	<p>【目的】 看取りを含む質の高い在宅ホスピスケアを行う専門職の養成</p> <p>【内容】 研修受け入れ機関として、ホームホスピスカあさんの家において、現場中心のホスピスケア・看取りの現地研修を6か月間にわたり行う。</p> <p>【研修者】 看護師・介護福祉士・ケアマネジャーなどの専門職であること。</p> <p>【支援内容】 ・研修生の生活費補助（無給の場合）と受け入れ機関の研修費用が助成される。原則として研修者1名あたり45万円/月</p> <p>☆<u>山崎 浩美</u> 2017年4/4～9/27 福島県伊達市</p>  <p>☆<u>川原 まゆみ</u> 2017年4/4～9/27 鹿児島県薩摩川内市</p>  <p>☆神戸なごみの家 リーダー研修生 西野マリ 2017年8/1～12</p> <p>☆われもこう リーダー研修生 溝口有紀 2017年8/26～28</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局運営	<p>平成27年8月10日認証 (平成27年9月30日期末) 主たる事務所を宮崎市恒久2丁目19番6号におく。</p> <p>事務局体制 平成28年4月1日より開始。 理事長:市原美穂 事務局長:黒岩雄二 事務局:岡田瑞穂 書記:古野たづ子</p> <p>理事会: 理事: 市原美穂 松本京子 竹熊千晶 兼行栄子 樋口千恵子 高橋紘士 園田眞理子 監事: 岡本峰子</p>	<p>一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局業務委託 【業務内容と実績】</p> <p>① 会員管理 正会員 33・準会員 12</p> <p>② 理事会の開催開催日時 2017年5/6(兵庫県)、7/9 実行委員会(東京都) 9/5(福岡県)、12/1(東京都) 2018年2/7, 8,9(東京都、群馬県) <u>計 5回</u> ・理事会の資料作成、旅費の支払い各理事との連絡などの業務にあたる。</p> <p>③ 定期総会運営 期日:2017年12月2日 会場:東京・明治大学中野キャンパス ・資料作成などの業務</p> <p>④ ホームホスピスの認定業務(現認定10法人)</p> <p>⑤ 認定審査業務(レビュー)</p> <p>⑥ 実践リーダーリーダー研修の手続き業務</p> <p>⑦ 全国のホームホスピスの運営に関する相談</p> <p>⑧ 拠点整備団体の推薦</p> <p>⑨ 協会主催の研修会の運営 《第1回ホームホスピス実践者育成塾》の開催 総論:2017年5月7日(神戸) 各論:2017年6月3, 4, 5日(宮崎) 《全国合同研修会の開催》 期日:2017年12月2, 3日 会場:明治大学中野キャンパス</p> <p>⑩ ホームページ運営・ニュースレターの発行</p> <p>⑪ 全国の支部活動の支援</p> <p>⑫ 新しく開設されたホームホスピスへの支援</p> <p>⑬ 助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務</p> <p>【今期の成果物】 ・ニュースレター(たんぼぼ2号) ・ホームホスピスのための防火安全対策のガイドライン ・事業報告書</p>

6) 黒岩ゆかり先生を偲ぶ会

がん患者に寄り添い、宮崎県内の緩和医療の普及に大きな功績を残された黒岩ゆかり先生が平成29年2月13日に逝去されました。ご本人の希望で葬儀は家族や近親者のみで行われたために、これまでに世話になった方々と共に遺志を受け継ぐ会を開催することにしました。夫の雄二さんが4月から正式にHHM事務局長に就任されたこともあり、「黒岩ゆかり先生を偲ぶ会実行委員会」の運営事務局をHHMの事務所に置きました。

実行委員には、医師会、緩和ケア病棟、訪問看護、宮崎大学などの関係者とご家族、呼びかけ人には、川名隆司先生（宮崎市郡医師会長）、綾部隆夫先生（元医師会長）、市原美宏先生（緩和ケア病棟準備委員）にお願いしました。

まず、お呼びする方の名簿作りから始めました。案内状と一緒にメッセージカードを同封し、参加できない方からも送っていただき冊子にまとめ、当日配布いたしました。作成は黒岩雄二さんにお願いし、ゆかり先生の幼少の写真からかけがえのないモンゴル旅行の写真まで、緩和ケア病棟創世記仲間の医師たちや、学生時代のご友人の方など、先生への惜別の思いがあふれる冊子になりました。

宮崎の緩和医療の勉強会のメンバー、地域の開業医や医師会関係者だけでなく、ゆかり先生に看取られたご遺族の方も多く参加され、会終了後お別れの時間として、ロビーにはお別れのみの方のために献花台を設けました。あちらこちらで、語らいの場が広がり、格式ばったお別れの会ではなく、心から先生のことを偲ぶ会になりました。

期日：2017年6月11日 13:00～16:00

会場：ニューウエルシティ宮崎

会費：10,000円 参加人数：141名

会次第：ご遺族ご挨拶に続き、吉川よしひろさんチェロ献奏、スライド上映、フラダンス、
進行：市原美穂

実行委員：市原美宏、石川智信、牛谷義秀、藤木啓、板井孝壱郎、椎葉俊子、黒岩雄二、
堀越照代、久保野イツ子、堤育子、太田幸子、祐末めぐみ、岡田瑞穂、
岩切知峰、新坂英伸、久保野郁美、市原美穂

実行委員会：4/21、5/18、6/7 3回開催



7) 街ン中ごちゃまぜプロジェクト

かあさんの家で看取ったご遺族所有の宮崎市中心市街地の土地を、ホームホスピス宮崎で社会に貢献できることに使ってほしいと提案がありました。街の中に最適の土地があり、それを買うのではなく借りるというのは好条件で、持ち主の方の土地への想いも活かすということです。訪問看護ステーション所長の堤育子さんは、医療的ケアが必要な小児在宅医療をサポートできる施設を宮崎に作りたい希望を持っており、それも含め生まれてから最期まで安心して生きるための人とスペースを作るプロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトチームには、宮崎大学医学部総合診療医学講座、訪問看護師、建築家、薬剤師、歯科医、親の会などが集まりました。まず、どんなことができるのかをフリートークで話すことから始めました。しかし、集まっているメンバーは、実際にケアの現場に関わっている人であり、アイデアを持っている人、こんなことをやりたいと夢を語る人、お手伝いするという人のグループです。でもこれだけでは、この事業は成り立ちません。お金のかかることですから、利益が上がるようにして運営をする事業として考えるグループが必要です。

来期には、事業を取り組む体制ができるのかどうかを模索することになります。

プロジェクト会議：2017年10月2日・山崎亮(スタジオL代表)とフリートーク

2017年11月24日

2017年12月22日

2018年2月27日

2018年3月24日

プロジェクトメンバー：桐ヶ谷大淳、吉村学、黒岩雄二、堤育子、市原美穂、吉村照代、久保野イツ子、萩原尉子、川添英司、岩田勝利、上田理加
岡元俊雄、宇都仁恵



8) 情報・広報

①ニュース発行及びパンフレット

- ・ニュースレター 22号・・・6/20 発行
- ・暮らしの保健室だより・・・毎月初めに発行（12回）
- ・ブログ
- ・Facebook
- ・ホームページ <http://www.npo-hhm.jp/>

マスコミなどの紹介

《 雑誌などの掲載の雑誌名 》

2018年 2-3月号 Astellas Square

《新聞の掲載》

2017年 6/16 朝日新聞【ケアニン】
6/19 福祉新聞
11/10 宮崎日日新聞
2018年 3/11 宮崎日日新聞
3/29 宮崎日日新聞

《表彰》

2018年1月18日 「第5回エクセレント大賞」組織力賞
(「エクセレントNPO」をめざそう市民会議)



②講演・講師派遣

市原（I）、久保野（K）、祐末（M）、堤（T）、白波（S）

月	日	曜	講演		講師
4月	1	土	NPO 法人ホームホスピス日南子 「ホームホスピス日南かあさんの家」オープン記念講演会	日南市	I
	23	日	平成 29 年度鹿児島県認知症ケア専門士会総会 及び第 1 回単位認定研修会	鹿児島県	I
5月	3	土	ホームホスピス実践者育成塾(神戸)	兵庫県	I
	13	土	宮崎看護専門学校医療高等課程	宮崎市	T
	16	火	宮崎看護専門学校講義 「がん、小児訪問看護」	宮崎市	T
	19	金	宮崎看護専門学校医療専門課程「地域看護概論」	宮崎市	T
	26	金	宮崎看護専門学校医療専門課程「地域看護概論」	宮崎市	T
6月	2	金	宮崎看護専門学校医療専門課程「地域看護概論」	宮崎市	T
	3	土	宮崎大学緩和ケア講習会	宮崎市	T
	9	金	宮崎看護専門学校医療専門課程「地域看護概論」	宮崎市	T
	21	水	日南看護専門学校	日南市	T
	25	日	宮崎統合医療研究会第 29 回勉強会	宮崎市	K
7月	4	水	住民と専門職がともに育む地域の看取り文化	鳥取県	I
	5	木	鳥取大学地域学部一般公開授業	鳥取県	I
	17	月	山口薬学大会シンポジスト	山口県	S
	23	日	第 4 回在宅フェア ザ！ざいたく!!	三重県	I
	29	土	熊本県認知症研修会	熊本県	I
8月	9	水	いわみざわ市民大学	北海道	I
	26	土	第 33 回大分県緩和ケア研究会	大分県	I
	30	水	寿楽園スタッフ研修	串間市	I
9月	7	月	日南看護専門学校	日南市	T
	8	金	和光園スタッフ研修	日南市	I
	9	土	家とこれからにそっと向き合う 3 日間	山口県	I
	16	土	日本エンドオブライフケア学会第 1 回学術大会	東京都	I
	17	日	第 7 8 回九州山口薬学大会	宮崎市	T
	21	木	日南看護専門学校 在宅呼吸器看護	日南市	T
	22	金	日本医療福祉建築学会	東京都	I
	27	水	宮崎看護専門学校	宮崎市	T

月	日	曜	講 演	講師	
9 月	28	木	日南看護専門学校	日南市	T
	30	土	平成 29 年度島嶼・地域ナース育成プログラム第 4 回シンポジウム	鹿児島県	I
10 月	8	日	一般社団法人日本尊厳死協会中国支部公開講演会	広島県	I
	4	水	宮崎看護専門学校	宮崎市	T
	11	水	宮崎看護専門学校	宮崎市	T
	12	木	日南看護専門学校 在宅呼吸器看護	日南市	T
	19	木	宮崎看護専門学校	宮崎市	T
	15	日	宗像ネットワークの集い Vol.8	福岡県	I
	21	土	全国ホームホスピス協会東日本支部	宮城県	I
25	水	あけぼの園スタッフ研修	国富町	I	
11 月	11	土	鹿児島国際大学	鹿児島県	I
	14	火	宮崎県介護支援専門員研修	宮崎市	M
	21	火	宮崎県介護支援専門員研修	宮崎市	M
	22	水	JA 宮崎中央会 九州地区交流会	宮崎市	I
	26	日	第 18 回山口県介護保険研究大会	山口県	I
	28	火	名古屋市 国立国際医療研究センター	愛知県	I
12 月	9	土	長崎大学	長崎市	I
	16	土	日本生命倫理学会第 29 回年次大会	宮崎市	I
1 月	17	水	宮崎県専門・認定看護師会	宮崎市	T
2 月	18	日	第 8 回大牟田市介護サービス実践発表会	福岡県	I
	20	火	ゆうゆうの森スタッフ研修	串間市	I
	24	土	日置市地域包括支援センター	鹿児島県	I
3 月	1	木	希望が丘自治会	宮崎市	I
	17	土	宮崎市ぐるみん(シンポジスト)	宮崎市	T
	22	木	たんがくの家介護食スタッフ研修	福岡県	M
	25	日	宮崎県介護支援専門員研修	宮崎市	M
	29	木	宮崎県介護支援専門員研修	宮崎市	M
	31	土	愛知県西尾市	愛知県	I
合 計					57

見学者受け入れ

月	日	曜	見学者	人数	
4月	4	火	岡野	広島県福山市	2
5月	19	金	筑波大学医学類6年(串間)	宮崎市	1
			東京電機大学	東京都	4
	13	土	ともファミリークリニック	鹿児島県	2
	6	火	福岡医療秘書専門学校	福岡県	1
	15	木	社会福祉法人ときわ会	小林市	5
	29	木	デイサービスウエルカム	鹿児島県	3
7月	14	金	国立国際医療研究センター	愛知県	1
8月	21	月	エヴァ	福岡県	5
	27	日	ひとえ歯科	宮崎市	1
9月	6	水	ひろた	宮崎市	1
	10	日	参議院議員 石田まさひろ	東京都	1
	20	水	有料老人ホームいっぽ	鹿児島県	3
	29	金	大熊由紀子	東京都	1
10月	24	火	埼玉県新座市市議会	埼玉県	9
	4	水	長崎大学医学部 永田	長崎県	1
	5	木	首都大学東京 ヒアリング 杉野	東京都	2
	19	木	福岡県直方市長	福岡県	2
	26	木	譜久山病院(明石市)	兵庫県	4
11月	7	火	玉名市医師会	熊本県	20
12月	15	金	中部学院大学	岐阜県	2
	18	月	高尾市立岡山醫院	台湾	13
1月	12	金	東京女子医科大学	東京都	1
	23	火	大分県社会福祉協議会	大分県	1
	23	火	宮崎県社会福祉協議会	宮崎県	1

月	日	曜	見学者		人数
2月	1	木	長崎大学	長崎県	2
	2	金	埼玉県熊谷市議会議員	埼玉県	4
	19	月	瀧脇（ふるさとの会）	東京都	2
	23	金	貞松	鹿児島県	10
3月	17	金	東洋大学	東京都	1
	2	金	ささえるクリニック他	北海道・高千穂町	2
	9	金	小田原福祉会	神奈川県	1
	13	火	慈遊館	鹿児島県	8
	19	月	訪問看護ステーションあざみ野ヒルトップ	神奈川県	3
合 計			34団体	人数	120

9) 組織運営

①理事会・定期総会

・理事会

日時：

- 第1回 2017年4月19日 19時 ・2017年度事業計画案、予算案について
- 第2回 2017年5月28日 12時 ・定期総会議案について
- 第3回 2017年5月28日 15時 ・理事長選任について
- 第4回 2017年11月21日 15時 ・2018年度事業について
- 第5回 2018年3月30日 15時 ・2018年度予算案、2018年度事業計画案について
・定期総会日程について

場所：暮らしの保健室

・定期総会

定時総会 2017年5月28日（日）午後13時半から14時半
暮らしの保健室

正会員総数22名のうち 総会出席会員数8名（うち委任出席12名）

議長：松田公利 議事録署名人：黒岩雄二、久保野イツ子

1. 2016年度（平成28年度）事業報告・収支報告
2. 監査報告：堀越照代
3. 役員選出

報告事項…2018年度事業計画・予算

・会員(2018年3月31日現在)

正会員 15名 賛助会員 56名 団体賛助会員 4団体

②事務局

・運営委員会

開催日：8/18、9/14、10/19、11/10、12/11

参加者：市原美穂、久保野イツ子、黒岩雄二、祐末めぐみ、甲斐昌江、立川志乃、堤育子

・事務局会議

開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行っていた。

参加者：市原美穂、久保野イツ子、黒岩雄二、祐末めぐみ、甲斐昌江、立川志乃、岡田瑞穂、
岩切知峰、久保野郁美、堤育子

《事務局体制》 岡田瑞穂、久保野郁美、岩切知峰（～6月20日）、舟井美穂（5月1日～）

2017 年度決算

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

単位 (円)

収益の部	2017 年度 予算額	2017 年度 決算額	決算差額	備考
1. 非収益事業				
(1) NPO事業				
会費	200,000	210,000	10,000	正会員 21 人* 10,000 円
寄付金	3,000,000	2,086,061	▲ 913,939	賛助会員含む(個人 54 口・団体 8 口)
講座収益	1,035,000	251,600	▲ 783,400	がんサポ ^o 、ケアニン
委託事業	920,000	914,000	▲ 6,000	ふらっつカフェ、がんサポ ^o
助成金	1,000,000	502,800	▲ 497,200	勇美財団、宮崎市(中退協)
補助金	2,300,000	2,300,000	0	宮崎市在宅療養相談事業
暮らしの保健室活動	200,000	309,000	109,000	ゆるりサロン、ゆるり短歌会、えがおキッチン、お灸教室
研修・実習	8,100,000	5,433,000	▲ 2,667,000	リーダー養成 270 万*2 人、研修医等
業務委託	2,000,000	1,436,531	▲ 563,469	全国ホームホスピス協会事務委託
その他の収益	2,500,000	2,695,035	195,035	講師収入、見学科、賞金、協会事務所使用料、過年度損益修正益、雑収入
(2) かあさんの家事業				
研修料	0	333,000	333,000	研修生受入、講師料
(3) 訪問看護事業				
研修料	100,000	299,500	199,500	教育実習料
小 計	21,355,000	16,770,527	▲ 4,584,473	
2. 収益事業				
(1) かあさんの家事業 (居宅介護事業含む)				
訪問介護報酬等	48,000,000	37,803,596	▲ 10,196,404	訪問介護、居宅、処遇改善、原案作成
生活支援収益	32,000,000	30,546,517	▲ 1,453,483	食材、生活支援、居室費、共益費等
その他の収益	0	2,510,617	2,510,617	衛生用品、介護用品販売、過年度損益修正益、雑収入
小 計	80,000,000	70,860,730	▲ 9,139,270	
(2) 訪問看護事業				
訪問看護報酬等	24,000,000	30,850,975	6,850,975	訪問看護報酬、訪問看護利用料
小 計	24,000,000	30,850,975	6,850,975	
(3) その他の収益				
雑収入	2,000,000	77,208	▲ 1,922,792	書籍等、(介護用品等→かあさんの家事業へ)
受取利息	1,000	59	▲ 941	
小 計	2,001,000	77,267	▲ 1,923,733	
当期事業収益合計	127,356,000	118,559,499	▲ 8,796,501	

支出の部	2017年度 予算額	2017年度 決算額	決算差額	備考
1. 非収益事業				
【事業費】				
講座・講演	600,000	971,408	▲ 371,408	がんサポーター養成、在宅療養相談事業(ケアン上 映会)、看取りケアセミナー、講師謝金等
ボランティア活動	700,000	588,255	111,745	ボランティア活動、サロン活動
その他の経費	1,000,000	836,546	163,454	新聞図書費、消耗品費、旅費交通費、印刷経 費、通信運搬費、支払手数料、雑費
小計	2,300,000	2,396,209	▲ 96,209	
【管理費】				
理事報酬	3,480,000	3,480,000	0	
事務人件費	7,500,000	7,368,256	131,744	社会保険、福利厚生費、中退共含む
通常経費	3,535,000	4,563,979	▲ 1,028,979	印刷経費、会議費、研修費、車両諸経費、通信 運搬費、消耗品費、水道光熱費、接待交際費、 リース料、租税公課、管理諸費
その他の経費	1,500,000	1,320,971	179,029	保険料、諸会費、支払手数料、支払利息、 慶弔費、雑費、固定資産除却損
小計	16,015,000	16,733,206	▲ 718,206	
事業合計	18,315,000	19,129,415	▲ 814,415	
2. 収益事業				
(1) かあさんの家事業 (居宅介護事業含む)				
【事業費】				
人件費	66,000,000	57,405,184	8,594,816	喀痰吸引、社会保険、福利厚生費、中退共含む
通常経費	9,000,000	11,137,581	▲ 2,137,581	食材費、居住経費、地代家賃、水道光熱費、 通信運搬費、消耗品費、研修費、旅費交通費
商品仕入れ	1,200,000	2,376,119	▲ 1,176,119	衛生用品、介護食品
その他の経費	1,500,000	362,291	1,137,709	接待交際費、雑費、雑給、固定資産除却損
小計	77,700,000	71,281,175	6,418,825	
【管理費】				
住居管理費	300,000	267,824	32,176	修繕費
労務管理	700,000	823,525	▲ 123,525	会議費、車両諸経費、通信運搬費、消耗品費、 地代家賃、新聞図書費、リース料、租税公課、管 理諸費
その他の経費	500,000	448,640	51,360	保険料、支払手数料、慶弔費、雑費
小計	1,500,000	1,539,989	▲ 39,989	
事業合計	79,200,000	72,821,164	6,378,836	

	2017年度 予算額	2017年度 決算額	決算差額	備考
(2) 訪問看護事業				
【事業費】				
人件費	19,400,000	17,444,565	1,955,435	社会保険・福利厚生費・中退共含む
通常経費	1,700,000	1,431,536	268,464	通信運搬費・看護経費・研修費・旅費交通費・接待交際費・車両諸経費・過年度損益修正損
小計	21,100,000	18,876,101	2,223,899	
【管理費】				
事務人件費	600,000	527,225	72,775	
労務管理	300,000	1,359,750	▲ 1,059,750	会議費・通信運搬費・消耗品費・地代家賃・新聞図書費・リース料・租税公課・管理諸費
その他の経費	500,000	409,858	90,142	保険料・諸会費・支払手数料・慶弔費・雑費
小計	1,400,000	2,296,833	▲ 896,833	
事業合計	22,500,000	21,172,934	1,327,066	
(3) その他の支出				
【事業費】				
本仕入れ	50,000	46,563	3,437	書籍、(介護用品等→かあさんの家事業へ)
小計	50,000	46,563	3,437	
【管理費】				
減価償却費	3,000,000	4,414,860	▲ 1,414,860	建物・車両・器具備品
小計	3,000,000	4,414,860	▲ 1,414,860	
事業合計	3,050,000	4,461,423	▲ 1,411,423	
当期事業支出合計	123,065,000	117,584,936	5,480,064	
3. 予備費	247,000	0	247,000	
当期支出合計	123,312,000	117,584,936	5,727,064	

税引前当期正味財産増減額	974,563		
当期正味財産増減額	974,563		
前期繰越正味財産額	58,456,209		
次期繰越正味財産額	59,430,772		

※ 研修費の一部、消耗品費、通信費、水道光熱費、賃借料の一部、労務管理費は、各部門の人員費比率による按分により算出→非収益事業(14%)：かあさんの家事業(60%)：訪問看護事業(26%)

2017 年度財産目録

単位(円)

科目・摘要		金額	
I 資産の部			
I 流動資産			
現金	現金手許有高	45,197	
小口現金		77,719	
普通預金	宮崎太陽銀行 南支店	4,242,105	
	宮崎太陽銀行 南支店(訪問看護)	327,903	
	宮崎太陽銀行 城ヶ崎支店(人材育成)	1,600,360	
	宮崎太陽銀行 城ヶ崎支店	0	
	宮崎太陽銀行 城ヶ崎支店(ケアサロン)	0	
	宮崎太陽銀行 南支店(市原)	0	
	宮崎銀行 宮崎支店	2,416,261	
	労働金庫 宮崎支店	168,157	
	郵貯振替 県庁支店	614,642	
		9,369,428	9,492,344
未収入金		10,982,114	
入居未収入金		3,116,182	
訪問看護未収入金		251,156	14,349,452
貯蔵品		471,350	471,350
前払費用		20,000	20,000
預託金		9,060	9,060
立替金		1,159,369	1,159,369
	流動資産合計		25,501,575
II 固定資産			
(有形固定資産)			
土地		17,397,466	
建物		37,536,263	
建物付属設備		3,694,242	
構築物		2,241,721	
車両運搬具		130,418	
器具備品		374,126	61,374,236
(無形固定資産)			
電話加入権		69,840	69,840
(投資その他の資産)			
敷金		243,000	243,000
	固定資産合計		61,687,076
	資産合計		87,188,651

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 負債の部		
I 流動負債		
未払金	2,433,706	
前受金	13,000	
短期借入金	9,566,307	
預り金	915,866	
入居一時金	2,200,000	
流動負債合計		15,128,879
II 固定負債		
長期借入金	12,629,000	12,629,000
固定負債合計		12,629,000
負債合計		27,757,879
正味財産		59,430,772

III 正味財産		
前期繰越正味財産	58,456,209	
当期正味財産増加額	974,563	
次期繰越正味財産		59,430,772

2017年度

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎の会計を別紙のとおり決算いたしました。

2018年5月21日

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎
理事長 山本 美穂

2017年度

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎

事業監査報告ならびに会計監査報告


- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 監査実施年月日 | 2018年5月21日 |
| 2. 業務執行の状況及び財産の状況 | 事業報告ならびに決算会計 |

2017年度の事業報告ならびに決算書、会計帳簿、預金通帳、領収書及び関係保証書類を閲覧し照合した結果、収支報告及び各帳簿は相違なく適正に執行処理されていることを認め、真実であることを報告致します。

2018年5月21日

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎

監事 弘中 信厚 

監事 岩村 一隆 

監事 堀越 照代 